

第3学年3組 算数科学習指導案

令和7年11月13日（木）第4時限 場所 3年3組教室

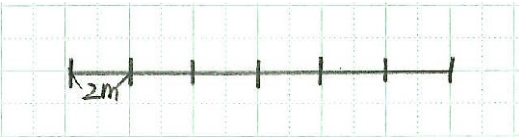
1 単元 間の数（本時2／2）

2 本時の目標

1 列に並んだものの数とその間隔との関係を、図をかいて考えることができる。

（思考力、判断力、表現力等）

3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
つかむ (8)	1 問題をつかむ。 ・ 2 m ずつだから $2 \times 7 = 14$ かな。 ・ 本当に 14 m なのかな。 2 本時の学習課題を把握する。	・ 子どもの興味を引くように、実際の写真を用意する。 ・ 問題を解き、問題の数字から読み取れないことを確認する。
	図をかいて、間の長さを考えよう	
ふかめる (30)	3 図を考える。 【個の追究Ⅰ】 ・ 木の絵を書いて、まっすぐ並べよう。 ・ 木を○に例えて、書いたらいいんじゃないかな。 ・ 線だけで書いたらすぐにかけるよ。 4 図を使って、説明を考える。 【個の追究Ⅱ・かかわり合いⅠ】 ・ まず、図を使って間の数を考えると、7本のときに、間の数が6になるね。 ・ 次に 2 m が 6 つあるから $2 \times 6 = 12$	・ すぐに図をかけない児童には、前時にかいた図を想起するように促す。 ・ いろいろな図を思いつくことが考えられるが、直線上に間が6である図をかけていれば称賛する。 ◎説明の「まず、次に」の言葉を使って説明するように指示し、間の数に目を向けさせるために、自分の図を見せ、図の中でこの数字を示しているか、指で指し示しながら、説明をするよう伝える。 ・ 間の数は、木の数よりも1小さくなることを気付かせるために、8本のとき、9本のとき…のきまりにふれる。 ・ 適応問題も図をかいて求めるように指示する。 ・ 本時のめあてについて振り返るよう伝える。 ・ 図をかき良さに気付いた児童を意図的指名し、称賛する。
		
ふりかえる (7)	5 適応問題を解く。 ・ 8人のときは、間が7だ。 ・ 3 m で間が7だから、 $3 \times 7 = 21$ m 6 本時の振り返りをする。 【振り返り】 問題を見て 2×7 だと思ったけど、図をかいてみると、間が6だった。図をかいてみると、よくわかった。	

4 評価

並んだものの数を簡潔な図に表すよさに気づき、間の数や間隔について考えることができたか。

（活動3・4・5・6のノートの記述、活動4の発言より）